

The EBARA

報告書 | 2020年1月1日 — 2020年6月30日

巻頭
特集

大雨や台風時に浸水被害を未然に防ぐ
排水機場を知る

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead > Beyond

目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集
大雨や台風時に浸水被害を未然に防ぐ
排水機場を知る



- 05 トップメッセージ



- 07 セグメント情報



- 09 海外展開
- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり
- 13 財務情報
- 14 企業情報

詳しい業績情報は
当社WEBサイトへ



<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、自ら創意工夫する熱意で取り組み、誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をする。そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、相手に通じないことはない。

企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する。

ブランドステートメント

Looking ahead,
going beyond expectations

Ahead Beyond

業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待や想像を超える製品やソリューションをご提供していきます。また、「Ahead,Beyond」には、決して現状に満足することなく、常に更なる高みを目指し挑戦し続ける当社の企業精神も込められています。

IRメール配信サービスのご案内

当社では、最新のIR情報を電子メールでお知らせするIRメール配信サービスを行っています。是非ご登録ください。



https://www.ebara.co.jp/about/ir/ir_mail/index.html

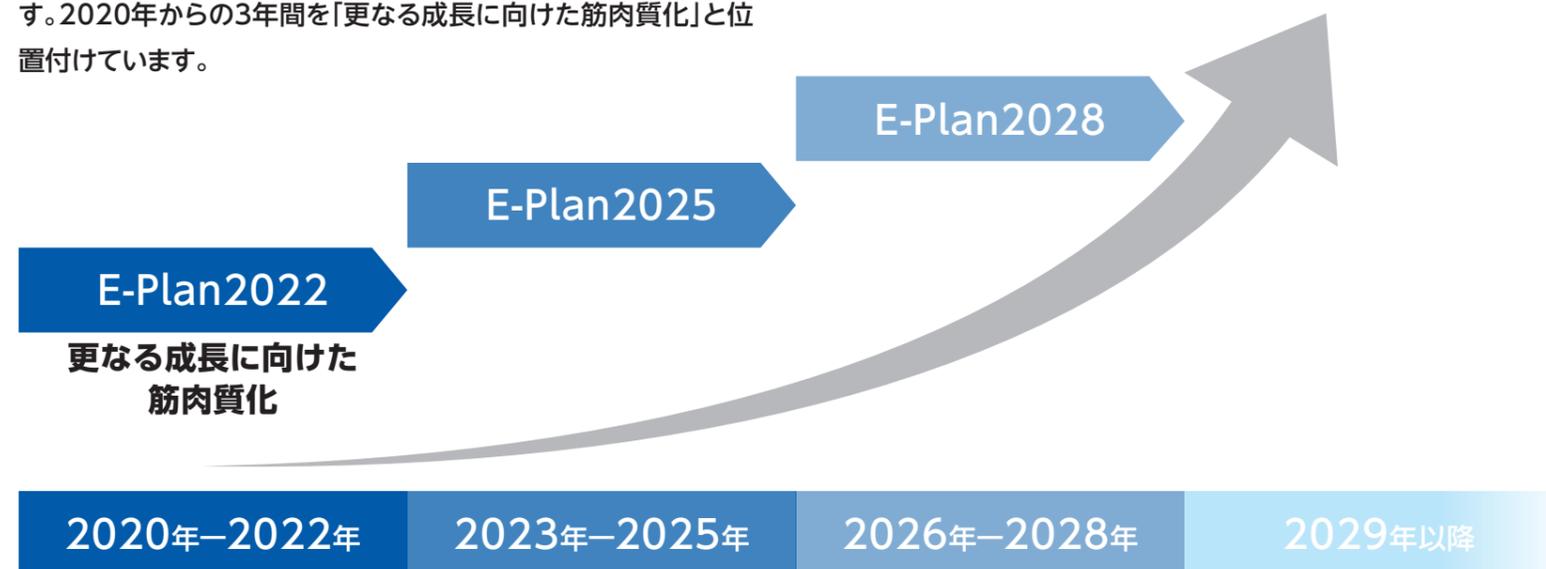
中期経営計画「E-Plan2022」

更なる成長に向けた筋肉質化

中期経営計画「E-Plan2022」は、長期ビジョン「E-Vision2030」で示した荏原グループの進むべき方向性に対して、バックキャストして今後3年間で取り組むべき経営の方針や戦略を表すものです。2020年からの3年間で「更なる成長に向けた筋肉質化」と位置付けています。

E-Vision2030

技術で、熱く、世界を支える



E-Plan2022

更なる成長に向けた
筋肉質化

E-Plan2022 基本方針

1 事業成長への挑戦

新事業の開拓・創出や既存事業におけるグローバル市場への更なる展開

2 既存事業の収益性改善

収益基盤強化のための事業構造の変革と全事業でのサービス&サポート売上高の伸長

3 経営・事業インフラの高度化

デジタルトランスフォーメーション(DX)への積極的な取り組み等による経営のスピードアップ、ROIC経営の深化

4 ESG経営の進化

変化する環境問題への取り組み、社会とのつながり及びガバナンスの強化

E-Plan2022 達成すべき目標

最重要経営指標(KPI)

ROIC(投下資本利益率)	8.0%以上
売上高営業利益率	8.5%以上

目標を達成するためのモニタリング指標

ROE(自己資本利益率)	11.0%以上
D/Eレシオ	0.3~0.5倍
事業別営業利益率	
風水力事業	7.0%以上
ポンプ事業	6.5%以上
コンプレッサ・タービン事業	8.0%以上
冷熱事業	5.0%以上
環境プラント事業	9.5%以上
精密・電子事業	13.0%以上

地球温暖化による水害リスクの高まりに伴い、雨水排水ポンプ施設の重要性が増す中、

当社は洪水対策に欠かせない全国各地の排水機場にポンプシステムを納入しています。

多発する台風に伴い重要性が高まる排水機場

全国1,000カ所以上! 荏原のポンプが活躍する排水機場

近年、異常気象の影響で日本列島を覆うゲリラ豪雨や台風。荏原のポンプは全国1,000カ所以上の排水機場で活躍しています。



鶴家排水機場
宮城県石巻市



新川河口排水機場
新潟県新潟市



江見下流排水機場
佐賀県神埼市



北千葉第一機場
千葉県印西市



世界最大級の首都圏外郭放水路の庄和排水機場

首都圏外郭放水路 庄和排水機場(埼玉県春日部市)

2006年に完成した地下約50m、全長6.3kmにおよぶ世界最大級の地下放水路です。5つの河川から巨大な立坑に取り込まれた水は、通称“地下神殿”と呼ばれる調圧水槽に溜まり、巨大ポンプの力で江戸川に放流されます。

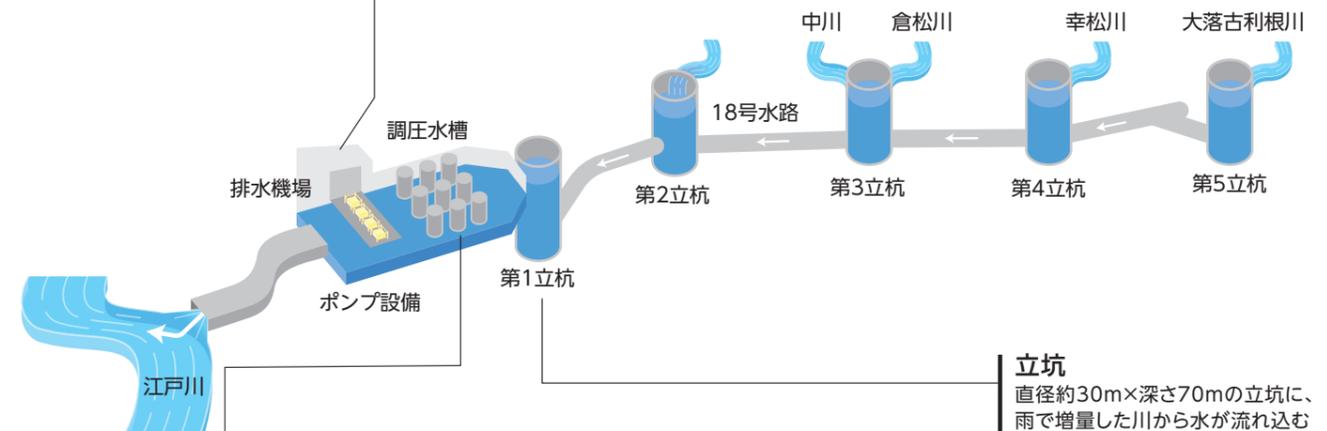
排水能力は最大で
1秒間に200m³
(25mプール1杯分)



ポンプ室
4台の巨大なポンプ



羽根車
直径3.8mもの羽根車が、溜まった水を14mの高さに押し上げて、江戸川に放流



調圧水槽(地下神殿)
長さ177m×幅78m×高さ18mの巨大水槽は、59本の鉄筋コンクリートの柱に支えられ、平時はパルテノン神殿のような迫力



立坑
直径約30m×深さ70mの立坑に、雨で増量した川から水が流れ込む



アフターコロナや未来のニーズを見据え、
新たな長期ビジョンの課題解決に
邁進します。



代表執行役社長

浅見 正男

新型コロナウイルス感染症対策について

はじめに、荏原グループを代表して、新型コロナウイルスによる感染症で亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、くらしを営む上で欠かせない業務に従事している世界中のエッセンシャルワーカーの方々に感謝いたします。

当社は、世界中で必要不可欠な社会インフラを提供し、産業とくらしを支えています。私たちもその社会的責務を果たすべく、従業員をはじめ、ステークホルダーの健康・安全を第一にしながら事業を継続していきます。

日本における緊急事態宣言の発出時には、当社グ

ループ従業員に不要不急の外出自粛を要請するとともに、早い段階から時差出勤制度の導入や在宅勤務の拡大に伴う社内体制等の整備を行いました。可能な限りの在宅勤務等によって感染リスクの抑制に努めながら、製造現場においては交代制勤務などを実施し、事業継続に必要な人数を確保しつつ稼働を続けました。宣言解除後は一部の制限を緩和しながら、当社の新しい働き方を模索しています。在宅勤務へのシフトをはじめ、従業員の健康・安全を最優先としつつも業務効率を上げていけるような就業環境、人事制度や情報システムなどを構築していきます。

第156期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による景気減速から先行き不透明な状況が続きました。日本経済においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のための経済活動制限などによって設備投資は弱含み厳しい状況が続きましたが、一方で、公共投資は大規模自然災害からの復旧・復興対策などに向けて底堅く推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループの売上高は2,454億79百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は136億56百万円(前年同期比5.3%増)、経常利益は124億28百万円(前年同期比6.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億34百万円

(前年同期比7.4%減)となりました。

下半期も、従業員をはじめとする関係者の健康・安全を最優先としつつ、事業活動へのマイナス影響を最小化するよう努めていきます。

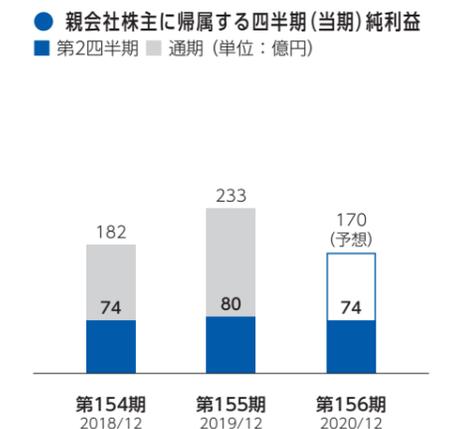
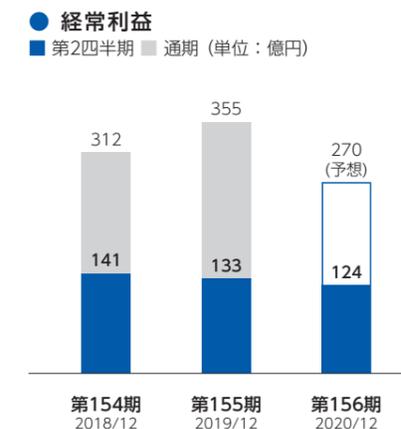
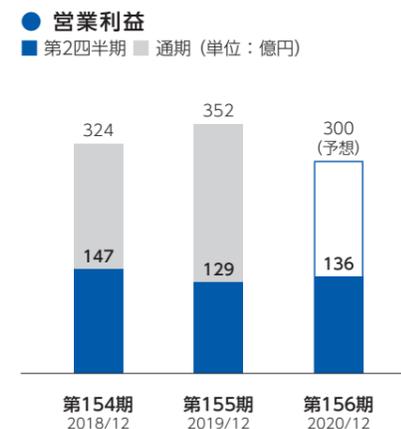
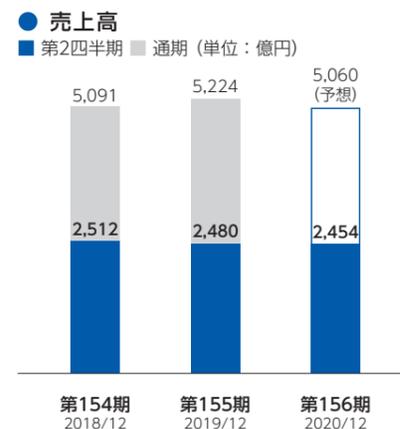
株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結配当性向35%以上を目標に当該期の業績に連動して実施しつつ、連結自己資本配当率(DOE)2.0%以上を確保する方針としています。この方針に基づき、期初の計画どおり当期の中間配当金は1株当たり30円とさせていただきます。

連結業績ハイライト

売上高	2,454億円	前年同期比	-1.0%	→
営業利益	136億円	前年同期比	+5.3%	↑
経常利益	124億円	前年同期比	-6.9%	↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	74億円	前年同期比	-7.4%	↓

※ ↑は+5%以上、↓は-5%以下の変化を、→は変化が±5%未満であることを表しています。



Segment Information

セグメント情報



風水力事業

売上高 **1,492億円**
前年同期比 3.2%減

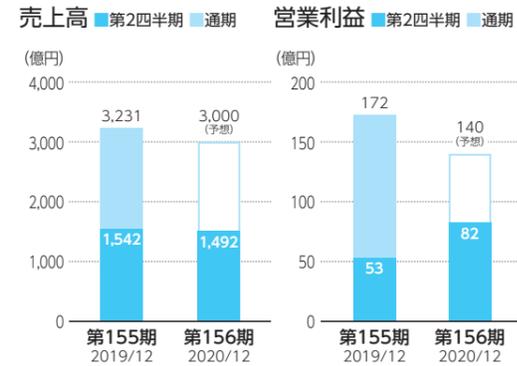
営業利益 **82億円**
前年同期比 54.3%増

主要製品

ポンプ、コンプレッサ、タービン、
冷凍機、冷却塔、送風機

POINT

- 新型コロナウイルスの影響で標準ポンプを中心に受注・売上が減少(-)
- 固定費の削減やカスタムポンプ事業で収益性改善により増益(+)
- コンプレッサ・タービン事業で収益性の高い部品販売が増加し増収増益(+)
- 冷熱事業で固定費削減と収益性改善により増益(+)



● 石油精製・石油化学業界向けキャンドモータポンプUCWC型[※]の販売開始

ポンプ事業は、帝国電機製作所と技術業務提携契約を締結し、両社の技術を融合した石油精製・石油化学業界向けプロセスポンプUCWC型の販売を開始いたしました。本製品は、アメリカ石油協会規格API685に準拠しており、特徴としてポンプとモータを一体化(キャンド化)することで軸封部を無くし、完全無漏えいの構造となっております。これにより、主に危険な液体(可燃性液体、毒性液体、高温・低温液体)や環境を汚染する液体を取り扱う、石油精製・石油化学業界の安全性向上と環境負荷低減に寄与いたします。更に、軸封部を無くしたことで、メンテナンス負荷低減と省スペース化が可能な製品となっております。

今後も、製品共同開発で得た技術と経験を活かして、多くのお客様の要望に応える製品開発を進めてまいります。

※記事中の「〇〇〇型」は、当社の機種番号です。



キャンドモータポンプUCWC型



環境プラント事業

売上高 **287億円**
前年同期比 10.6%減

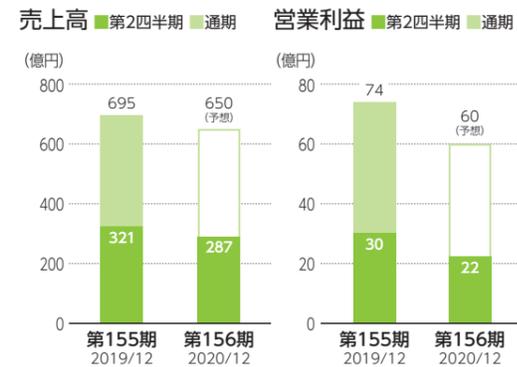
営業利益 **22億円**
前年同期比 26.0%減

主要製品

都市ごみ焼却プラント、
産業廃棄物焼却プラント、
バイオマス発電プラント

POINT

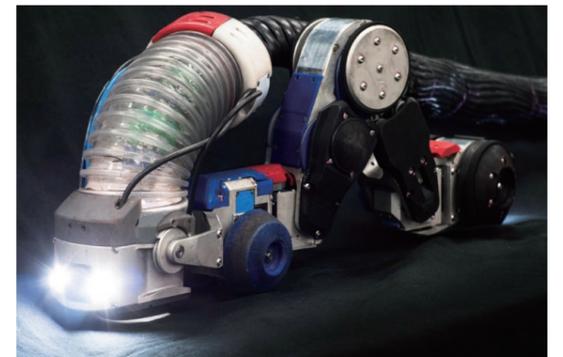
- 新型コロナウイルスによる大きな影響は無し
- プラントの設計・調達・建設を行うEPCの売上が工事進行のタイミングにより端境期となるため減収減益(-)



● ロボットを駆使したボイラメンテナンス技術の開発

環境プラント事業では、ロボット開発を手掛ける株式会社ハイボットに出資し、資本業務協定を締結しました。同社とは数年前から水浸超音波探傷センサを搭載した小型走行型ロボットの共同開発を実施しています。ボイラ水管の管寄せ配管の点検口からロボットを投入し、測定対象の水管まで走行移動させた後、水管にセンサを挿入して管の厚さを内側から自動連続測定するもので、これにより、ボイラ水管の一部を切断するといった準備作業が解消され、作業時間の短縮及び資機材の削減が可能となります。

今回の資本業務協定を通じて、固形廃棄物処理施設等の社会インフラ施設において、更なる安全、安定、安心な施設運営を目指し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



水浸超音波探傷センサを搭載した小型走行型ロボット「SQUID (スクイッド)」



精密・電子事業

売上高 **667億円**
前年同期比 9.6%増

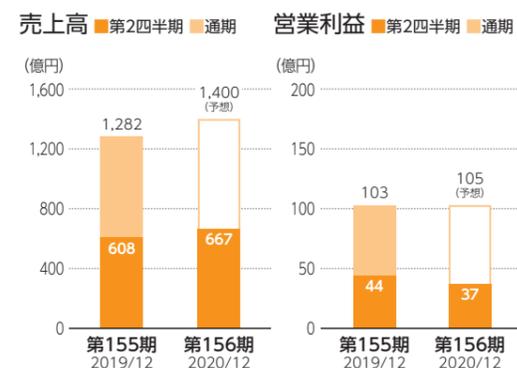
営業利益 **37億円**
前年同期比 15.8%減

主要製品

真空ポンプ、CMP装置、
めっき装置、排ガス処理装置

POINT

- 新型コロナウイルスによる影響が見られたものの、好調な受注により増収(+)
- CMP事業で案件ミックスの悪化や収益性の高いサービス＆サポート案件の延期などにより収益性が低下(-)
- コンポーネント事業でドライ真空ポンプの自動化工場関連の固定費増加により減益(-)

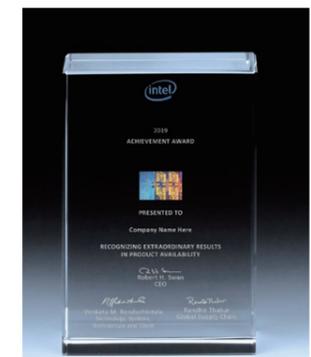


● インテルコーポレーションから「2019年 Supplier Achievement Award(SAA)」を授与

精密・電子事業は、インテルコーポレーション(以下、インテル)から「2019 Supplier Achievement Award(SAA)」を授与されました。この賞は、インテルが重要視する領域で特に優れた業績を達成したサプライヤー企業に授与され、業界を先導する重要な役割を果たしたことを評価するものです。

当社は「Sustainability(持続可能性)」の観点からの評価を受けました。事業継続の計画や様々な体制の構築と安定的な会社運営が評価のポイントでした。「信頼性」を強みと認識している企業として、お客様が安心して事業活動をできるための適切な施策を打ってまいります。

今後もお客様・サプライヤーの皆様とともにオンリー・ワン技術をもって、社会の発展に貢献するとともに、新たな領域に挑戦し豊かな世界を創造し続けます。



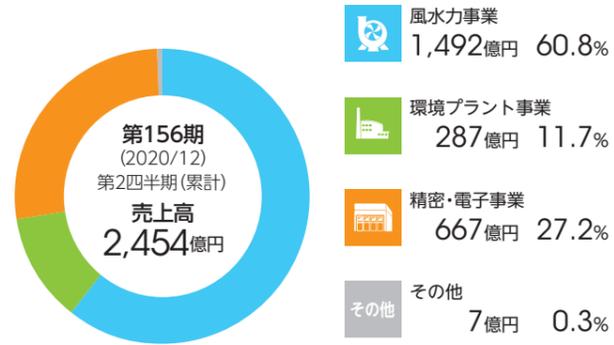
授与された「2019 SAA」トロフィー

2019 SAA
Intel® Supplier Achievement Award

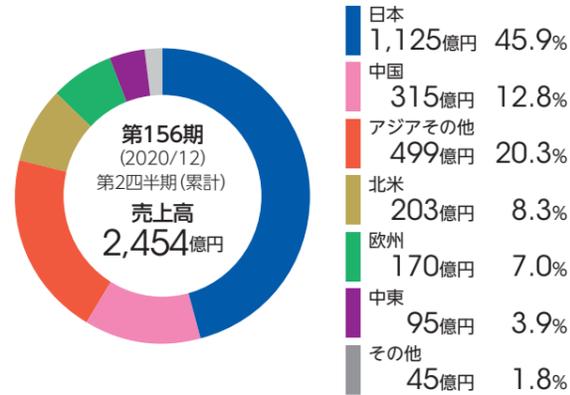
Global View

海外展開 (2020年6月30日現在)

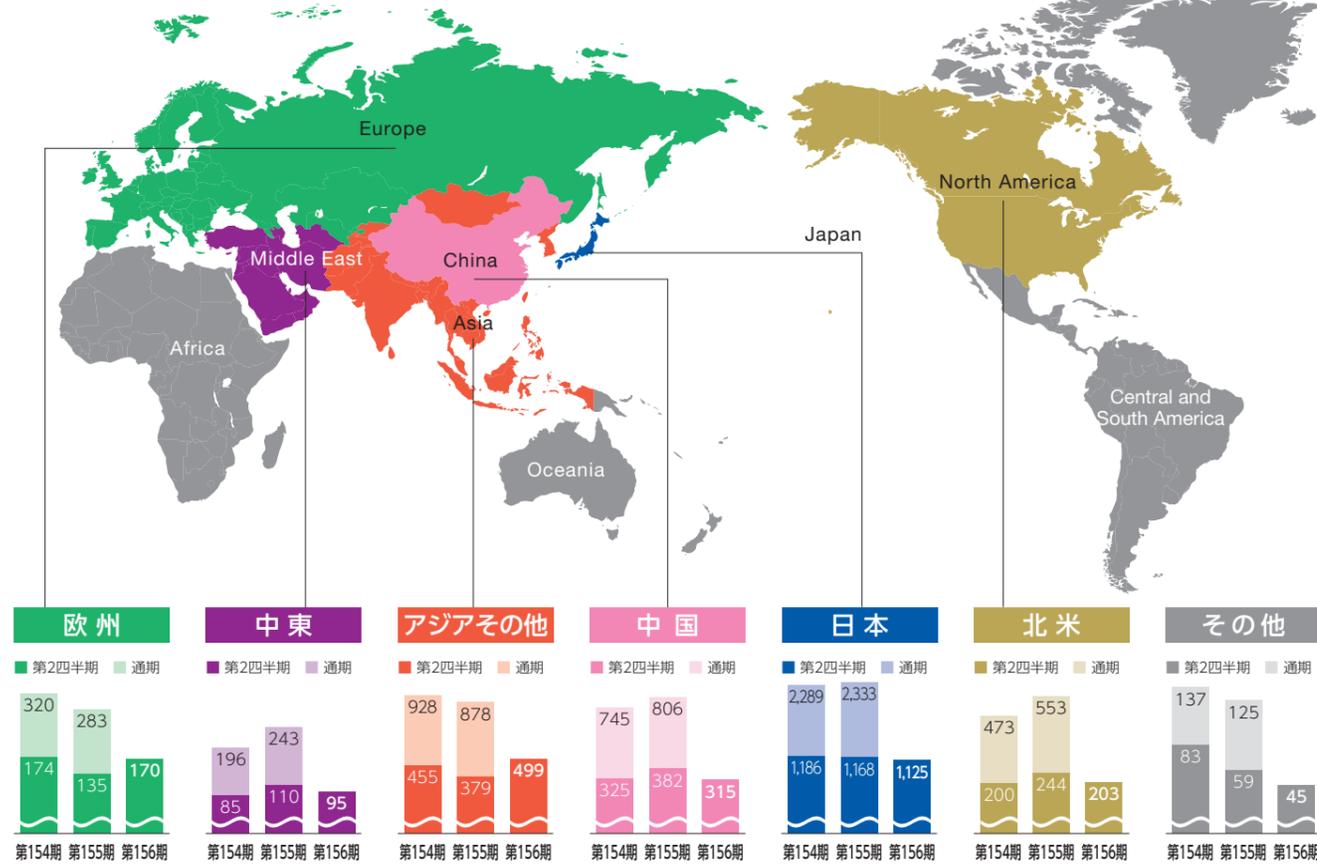
事業別連結売上高



地域別連結売上高



地域別売上高の推移 (単位:億円)



国内・海外の関係会社数

99社

海外	
関係会社	61社
● 中国	12社
● アジアその他	19社
● 北米	6社
● 欧州	9社
● 中東	4社
● その他	11社
国内	
関係会社	38社

海外売上高 / 海外売上比率

1,329億円 / 54.1%



Topical News

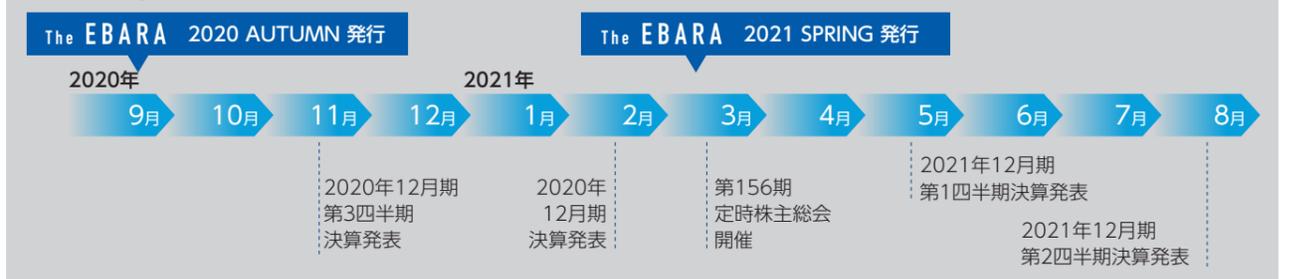
トピックス

荏原グループの動き (2020年1月 → 2020年6月)

- 1 JAN**
 - Spiber株式会社への出資と構造タンパク質素材の製造分野における業務提携基本契約を発表
- 2 FEB**
 - 国立競技場で環境対応型新冷媒使用の新型ターボ冷凍機が採用
 - 東日本大震災復興支援「東北応援マルシェ」を開催
- 3 MAR**
 - 富津工場でACCELIOT社RFIDシステム「STAR システム」導入による部品のリアルタイムロケーション管理を開始
 - 首都高速道路横浜環状線 横浜北西線トンネルに換気設備を納入
- 4 APR**
 - ブラジル市場向けガソリンエンジンポンプ 本田技研工業株式会社とブラジルでコラボレーション
 - 米インテル コーポレーションから 2019年Supplier Achievement Award (SAA) を受賞
 - ベトナムの工場が鋳造品のJISマーク認証を取得
 - ブラジルにポンプのアンテナショップをオープン
 - 日本下水道事業団より「平成30年度優良施工業者」に選定
- 5 MAY**
 - 海外グループ会社によるウェビナー※開催 ※ウェブでのセミナー
 - 株式会社ハイボットとの資本業務協定を発表
- 6 JUN**
 - 七尾市ごみ処理施設整備・運営事業を受注
 - 日本水産・荏原製作所・ベンチャーと語る！ MARINE-TECHセミナー ～海の持続可能性 × 新規事業～に参加
 - 高効率GS型シリーズ GSD型ポンプを発売
 - 自作マスクで医療を守ろう #SAVETheNurseに賛同
 - 「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参画
 - 札幌市下水道河川局より「2019年度工事 安全管理優秀業者と設計等優秀業者」に選定、表彰
 - リージョナルフィッシュ株式会社と資本業務提携を締結



IRカレンダー



地域・社会とのコミュニケーション

新型コロナウイルス感染拡大に対する当社の社会貢献

「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参画



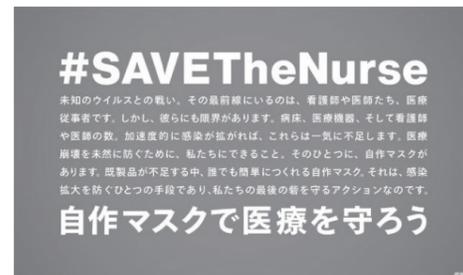
本宣言は、新型コロナウイルス感染症の予防、診断、治療および封じ込め等、新型コロナウイルス感染症のまん延終結を目的とした行為に対しては、一切の対価や補償を求めなく、自己が保有する特許権・実用新案権・意匠権・著作権の権利行使を一定期間行なわないことを宣言するものです。

これにより、荏原の所有する知的財産権については、調査やライセンス交渉などに時間を費やすことなく、速やかな開発・製造を行うことができます。

自作マスクで医療を守ろう #SAVETheNurseに賛同

新型コロナウイルス感染症対策において、医療崩壊を未然に防ぐための取組みの一つとして、「自作マスク」があります。

特に既製品のマスクの供給が不足する中、ハンカチなど身近なものを活用し、誰でも簡単に作ることが出来る自作マスクの普及は、医療従事者の皆さんに優先的にマスクを届けることにも繋がることから、荏原は基本的な感染対策(手洗いをしっかり行うこと/人との距離をあけること)と組み合わせ、自作マスクの推進活動を積極的に行っています。



社内イベント（新規事業への取り組み）

新規事業アイデアコンペティション「E-Start2020」を実施しました



最優秀賞を受賞した佐野さん(左)・鶴田さん(右)と浅見社長(中央)

※最終審査会には、新規事業開発を支援する株式会社リバネスの丸 幸弘代表にも審査員として参加いただきました。

株式会社リバネスは、大学関係者、研究機関、アーリーステージのベンチャー、そしてイノベーターとのパートナーシップを求める大企業など、多種多様な人々を巻き込んで科学技術の社会実装に取り組んでいます。

新規事業の創出を実現するための新たな取り組みとして、2020年3月から6月にかけて、社内公募により新規事業のアイデアを募集する新規事業アイデアコンペティション「E-Start2020」を実施しました。

荏原が持つ技術力を軸に、主力のポンプ事業に関連した事業アイデアから新規事業領域まで120件に上る幅広い提案がなされ、そのうち9件が最終審査に進みました。最終審査会では、1)新規性・革新性、2)当社の長期ビジョン[E-Vision2030]との合致性、3)当社が保有する技術やその他経営資源との親和性、4)応募者の熱意などを厳正に審査のうえ、従業員投票の結果も踏まえ、最優秀賞、優秀賞(2件)、審査員特別賞、リバネス賞が選出されました。

最優秀賞はじめ入賞した新規事業アイデアは、今後、事業化に向け具体的な検討に入ります。

今後も「技術で、熱く、世界を支える」をスローガンに、当社の技術力と人材を強みに社会課題の解決に貢献してまいります。

株主・投資家とのコミュニケーション

2020年3月 第155期定時株主総会を開催しました

2020年3月27日、ベルサール東京日本橋地下2階イベントホールにて第155期定時株主総会を開催しました。監査報告、事業報告、トピックスなどについてご説明後、「剰余金の処分の件」「取締役10名選任の件」の2議案を審議し、原案通り承認可決されました。



出席者数	213名(前年度比 223名減)
質問者数(質問数)	6名(19問)
所要時間	1時間55分

今年度の展示コーナー

映像やパネル等を用いて、新製品や各事業についてご説明しました。

風水力事業



全国で活躍する排水機場について紹介しました。



新製品の実機展示も行いました。

環境プラント事業



廃プラスチックのケミカルリサイクル技術について紹介しました。

精密・電子事業



半導体製造工程で活躍する当社の平坦化技術について紹介しました。

定時株主総会の詳細は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

●株主・投資家情報「株主総会」

<https://www.ebara.co.jp/about/ir/stock/shareholdersmeeting/index.html>

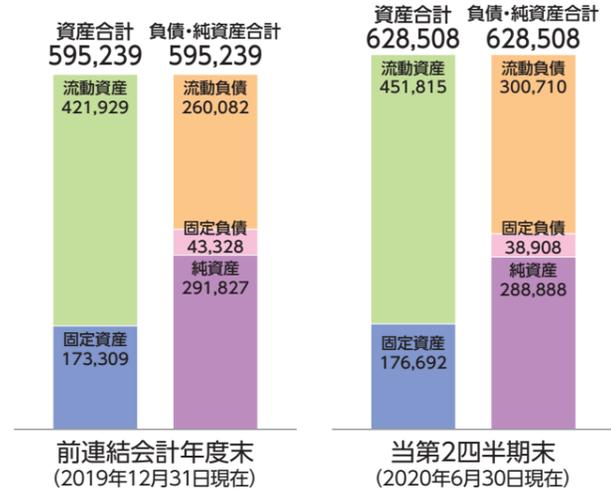


Financial Information

財務情報 (2020年6月30日現在)

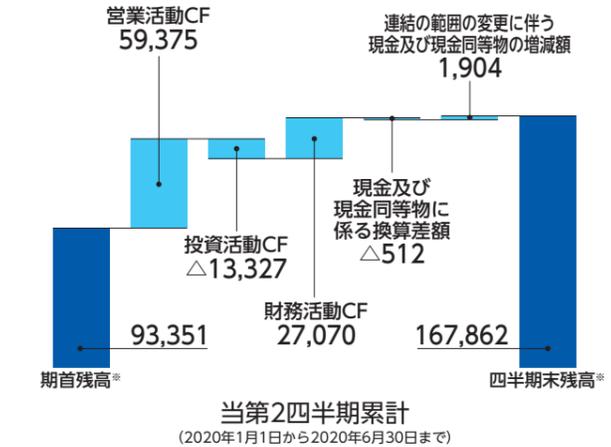
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



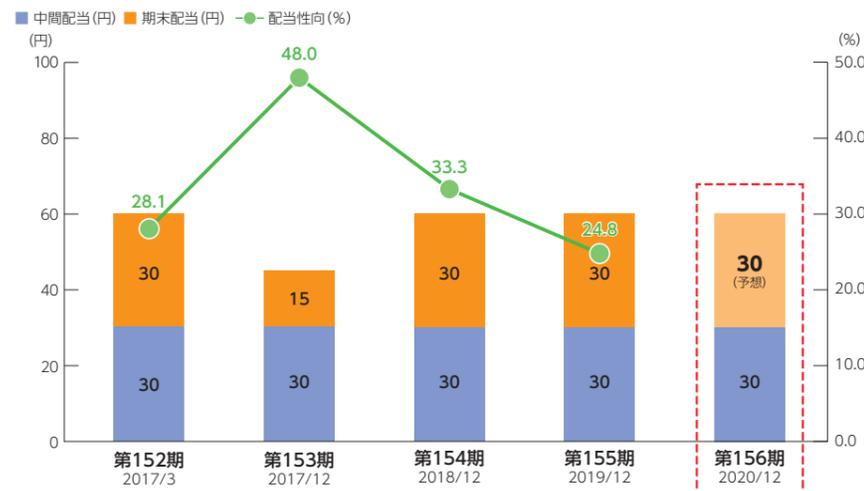
※「期首残高」及び「四半期末残高」は現金及び現金同等物の残高

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結配当性向35%以上を目標に当該期の業績に連動して実施しつつ、連結自己資本配当率 (DOE) 2.0%以上を確保する方針としています。

※ 当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。右のグラフでは、過去4年に遡って比較できるように第152期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。

● 1株当たり配当金/配当性向の推移



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	当第2四半期(累計) 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
売上高	248,055	245,479
売上原価	185,642	180,053
売上総利益	62,413	65,426
販売費及び一般管理費	49,440	51,769
営業利益	12,973	13,656
営業外収益	1,599	1,147
営業外費用	1,222	2,375
経常利益	13,349	12,428
特別利益	124	103
特別損失	638	421
税金等調整前四半期純利益	12,836	12,111
法人税等	3,974	3,841
四半期純利益	8,862	8,270
非支配株主に帰属する 四半期純利益	836	835
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,025	7,434

Corporate Information

企業情報 (2020年6月30日現在)

会社概要

商号 株式会社荏原製作所
 本社所在地 〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
 電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)
 創業 1912年(大正元年)11月
 資本金 794億円
 従業員数 4,067名(連結17,363名)
 関係会社 子会社95社 関連会社4社

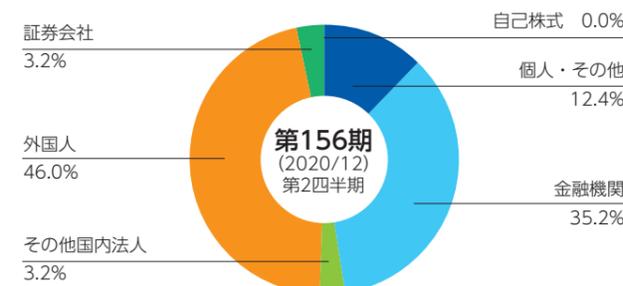
株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 95,351,053株
 株主数 22,171名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,951	11.5
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	9,552	10.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,802	8.2
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	4,059	4.3
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,074	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	2,036	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,703	1.8
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,692	1.8
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,619	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,387	1.5

(注) 持株比率は、自己株式(18,052株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取・買増請求、マイナンバーのお届出等の各種お手続きについて

- 証券会社の口座を開設されている株主様
お取引のある証券会社へお申し出ください。
- 特別口座に当社の株式が記録されている株主様
当社の特別口座管理機関である三井住友信託銀行へお問い合わせください。

役員

取締役	執行役
取締役会長 前田 東一	代表執行役社長 浅見 正男
取締役 浅見 正男*	執行役 野路 伸治
社外取締役 宇田 左近	執行役 沖山 喜明
社外取締役 澤部 肇	執行役 山田 秀喜
社外取締役 山崎 彰三	執行役 喜田 明裕
社外取締役 大枝 宏之	執行役 マイケル・ローダイ
社外取締役 橋本 正博	執行役 大井 敦夫
社外取締役 西山 潤子	執行役 戸川 哲二
社外取締役 藤本 美枝	執行役 勝岡 誠司
取締役 藤本 哲司	執行役 永田 修
※は執行役兼務	執行役 中山 亨
	執行役 長峰 明彦
	執行役 小和瀬裕之
	執行役 曾布川 拓司

株式事務

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	12月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	12月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 https://www.ebara.co.jp ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	6361
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

※特別口座に株式が記録されている株主様は、証券会社に口座を開設し口座振替のお手続きをご検討くださいますようお願いいたします。(特別口座とは、株券電子化に移行されるまでに株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主様の権利を保護するために当社が開設した口座です。)

WEBサイトのご案内



当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで、皆様に当社をご理解いただくための各種情報を発信しています。また、最新情報だけでなく過去のIR資料の掲載や株主総会の動画配信なども行っておりますので、ぜひ、ご活用ください。

WEBサイト掲載資料



会社案内

ステークホルダーの皆様に、当社が行っている事業内容や取扱製品、沿革等の基本情報を紹介しています。



www.ebara.co.jp/about/corporate/about/outline/



統合報告書

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社グループが中期にわたり企業価値を創造するプロセスなどを紹介しています。



www.ebara.co.jp/about/ir/index.html



エバラ時報

当社の研究開発の成果や新製品・技術情報を発信する情報誌として、ステークホルダーの皆様に、製品・技術・サービスを分かりやすく解説しています。



www.ebara.co.jp/about/technologies/index.html

ソーシャルメディア公式アカウントのご案内



Twitter



https://twitter.com/EBARA_OFFICIAL



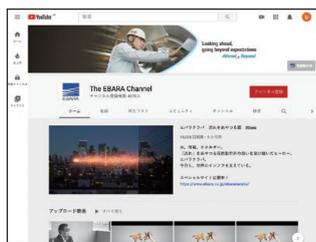
Facebook



<https://www.facebook.com/EBARACORPORATION1912/>



YouTube



<https://www.youtube.com/channel/UC2khcpzNTcFQXUj3AiuffUQ>



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 IR・広報課
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

